



\*ご不明な点や相談がありましたら、いつでも「がん相談窓口」にご相談ください。相談は無料です

○相談時間 月～金曜日9：00～16：00(祝日、年末年始を除く)

○相談方法 来訪による対面相談(まごころ窓口相談室での相談)  
電話相談 088(837)6777(まごころ窓口)  
088(837)3000(高知医療センター)  
から「がん相談窓口」へ

○場 所 〒781-5155 高知市池2125番地1 高知医療センター  
1階まごころ窓口内(正面玄関を入り、左手)

高知医療センター がん相談窓口  
(2008.12)

## がんの補完代替医療 (CAM) について



雑誌や本、インターネットはがんの補完代替医療に関する情報があふれていますが、科学的な立場から有用なものは極めて少ないのが実情です。

一方で、がん患者さんは補完代替医療に関心をもっている方も多く、本人はそうでなくても、周囲の人から「これを飲んで治った人がいるよ」と勧められた経験もあると思います。

## ♥補完代替医療とは

・「補完医療（コンプリメンター・メディシン）」とは従来の医学的な治療に加えて「補足的に」他の施術、療法を行うときに用いられています。

・「代替医療（オルターネイティブ・メディシン）」は「何かの代わりに」という意味で「通常医療にとって代わる」という意味になります。

## ♥補完代替医療には どのようなものがあるの？

保険診療にならない医療のことで、具体的には健康食品、鍼・灸、アロマテラピー、気功などの伝統医療や民間療法、そして、遺伝子治療などの先進医療も含まれる場合があります。



## ♥代替医療の詳しい情報について厚生労働省の 研究班が作成した「がんの補完代替医療ガイドブック」があります。

- ・高知医療センター「なるほどライブラリー」でご覧になれます。
- ・インターネットの「がん補完代替医療ガイドブック」で検索。
- ・高知医療センターの「がん相談員」にお尋ねください。

## ♥補完代替医療の効果や副作用について

現段階で、がんの治療効果が科学的に証明されたものはありません。不安な気持ちを落ち着けるためや、食事が充分摂取できない場合にサプリメントで補うなどの目的で使うのであれば意義があります。

中には、抗がん剤治療や放射線治療の効果を軽減したり、副作用を強めたりすることがわかっているものもあるので、**補完代替医療を併用したい時は、必ず主治医や看護師に相談してください。**

## 補完代替医療とのつきあい方5カ条

1. 関心のある補完代替医療について科学的な根拠を集めよう
2. いま受けている治療に悪影響がないか、担当医に確認しよう
3. 健康食品・サプリメントには、副作用があるものもある
4. 「がんが治った」体験談や「免疫力が高まる」といった宣伝文句には要注意
5. 自分にとって効果はあるのか、費用や期間が妥当か、冷静に考えよう



補完代替医療のみは危険です。

詳しくは

「がんの補完代替医療ガイドブック」

をご覧ください

